

あ み だ じ
阿弥陀寺
だより

2025年 1月 1日 第 63号

金剛山 阿弥陀寺

発行人 大谷 義文

〒 861-2235 熊本県 上益城郡 益城町 福富 916

☎ (096) 289-0424 ㊚ (096) 297-9161

✉ amidaji@jcom.zaq.ne.jp

ホームページ [金剛山 阿弥陀寺](#) [検索](#)

郵便振替:01710-8-68921 加入者名:阿弥陀寺事務所

恭賀新年

大悲に生きる人とあう

願いに生きる人となる



納骨堂増築工事中

争い

大谷 義文

戦地からの映像に、言葉を失う。どうすれば、争いは治まるのだろうか。第一次世界大戦終結から14年後、国際連盟は戦争の反省として、物理学者アインシュタイン（53歳）にある依頼をした。好きな相手を選び、今の文明でもっとも大切な問いをたて、書簡を交わしてくださいとのこと。彼は「人はなぜ戦争をするのか」として、心理学者フロイト（76歳）を相手に選んだ。フロイトは「自身の生命を保持する欲動は、破壊の欲動なしに保持できない。人類の歴史の大半は、戦争という力比べによつて決着してきた」と述べ、争いはなくならないことを示した。

「さるべき業縁のもよおせばいかなるふるまいもすべし」と言われ「いずれの行もおよびがたき身」と教えられている。悲しいことだ。フロイトは「文化を発展させると人間の機能が低下するので欲動をコントロールできるのでは」と手紙に提言している。文化が発展した国に暮らす私はどうだろうか。傘を持たずに、雨に見舞われると「異常気象だ」と。お参り先で鴨居に頭をぶつければ「古い家だ」と。玄関でつまづけば「こんな造りでは」と、一度も自身を疑わない。どうも私は、文化の発展と比例していないようだ。「いずれの行もおよびがたき身」とは、人の本性は絶対に変わらないのだということだ。そんな私に仏教は「あなたは、そのすがたにうなづけますか」と常に問うてくる。真実を知らされるのと知らないのでは大きな違いだ。それが人の生き方なのだろう。



佐土原本店

熊本市東区佐土原1-12-1 (佐土原バス停前)

電話 **096-360-8488**

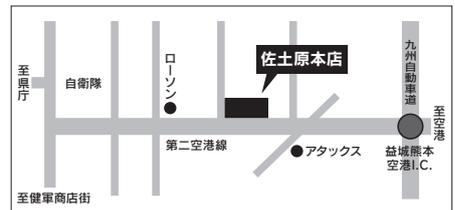


昼/11:00~15:30 (オーダーストップ15:00)

夜/17:00~21:30 (オーダーストップ21:00)

定休日/毎週火曜日 (祝日の場合翌日振替)

7・8月、12・1月は不定休



<http://www.kawasen.jp/>

母さんに百の抽斗秋彼岸

秋彼岸会

リレー法話！

昨年、9月23日(月曜日)、彼岸会が動まりました。大阪、中井賢隆師。京都、はがみちこ師。長崎、有馬麻衣子師にお越しいただき、30分ずつのご法話をリレーしていただきました。昨年に引き続きの布教使方々で、皆さまから「お帰り」の声が聞こえました。

夏井いつき 句会ライブ 合志特選句 九月一日

唐草サ行(大木 歌子) 句会楓組



なかなか帰省できずに、今年も残りわずか。一人暮らしの母は間もなく九十三歳になる。

この秋、我が合志町にて待望の夏井いつき句会ライブが、満席五百人で開催された。参加者全員が五分で同時に詠むというやり方。お題は台所の画像一枚。

浮かんだ台所の母のイメージは、たくさんの知らない。

識の抽斗とおもてなし料理を作る頼もしい後ろ姿。ユーモアたっぷりの鹿児島弁、「てげてげてで良かど」が口癖の母をお手本にしたい。頑張りすぎない生き方が長生きの秘訣かもしれない。



「逆走なき歩み」中井 賢隆 布教使



「仏の光、私の眼」有馬麻衣子 布教使



「人の間にひかりがみちる」はがみちこ 布教使



ポヤポヤさんミニコンサート

『大江戸日記』

釋 芳隆(大谷 隆) 第11回

節目とは、竹は空洞だが節があることで強く高く伸びることから言われる言葉だ。物事には、節目があることで大きく前進すると思いが込められているのだが、前進する上でその過程を忘れてはならないと日々教えらる。

先日、私が勤務してい

る西徳寺で開基400年、本堂建立100年の記念法要が勤まった。身に染みてその法要の大きさに感動を覚えた反面、これから新たに歴史が続いていくことに責任と自覚が芽生えた法要となった。

とが抜け落ちていたように思う。

何よりも、この節目の法要に私自身が出会えた事実が驚き、改めて貴重な体験をしたと感じた。ただ、そこにこれまでの歴史に立ち返るとい

歴史を「継承」するには責任や自覚という言葉では足りない。先ばかりを見るのではなく、立ち止まり、その節を縁として過去に目を向けていくことが歴史の継承に繋がるのである。再度考える。1923年、関東大震災で焼失した西徳寺で、記念法要という節目に出会わせていただいた意味を。

『肥後山中膝栗毛』

釋 智明(川村 智明) 第27回

昨年の7月、初めて入院手術を経験しました。私が患った病気が「顎変形症」というあごの病気です。聞き馴染みのない方が多いと思います。これは生活習慣や遺伝によって、歯の噛み合わせが正常でない人に診断が下ります。その状態は、左右非対称や受け口など

多様です。これらが原因で、骨格の歪みや痛みが出る場合があります。私は開口障害、片頭痛、首と肩の凝りが影響としてあらわれていました。手術は全身麻酔で約4時間行われました。口内にメスを入れて下のあごの骨を削り、7ミリ後方に移動させています。術後は口が動かぬよう、上のあごをワイヤーで10日間も固定されまし

た。そのため食事が流動食となり、お腹を下し脱水症状が続いたため、体重が6キロも減りました。気力、体力ともに削られ、入院中でもっとも苦しい期間でした。現在は体重も戻り、後遺症もなく、体の不調も改善されました。治療を選択してよかったです。うれしい変化は、滑舌がよくなったことです。

ビート Off・beat 総代のつばき 57

皆さんこんにちは。総代の森雄です。社会保険労務士をしています。シヤズに熱狂した、青春時代を回想し、ひと言つばきだいたいと思っています。どうぞお付き合いをお願いします。

コール・ポーター。1891年米国生まれの作曲家。「夜も昼も」、「オールオブユー」等数々の名曲を世に送り出し、C・パーカー、M・デイベス、J・コルトレーン等ジャズ界の巨匠にも数多く演奏されました。

ら彼を作曲家としての不動の地位まで築き上げた珠玉のラブストーリーに仕上がっています。全編を通してコールの曲をバックに、美しく気品のある風情を醸し出しています。私はとりわけ「All Of You(あなたの全て)」という恋の歌が一番好きです。今思えば一度くらい、「オールオブユー」と言ってみたかった。かなわぬ夢物語ですね(笑)

『御修行奮闘記』

釋 博真(柳原 真人) 第48回

小学3年生の長女が、時々「学校に行きたくない」と言います。理由をたずねると「なんとなく」としか言いません。「無理してでも行きなさい」とも「好きなだけ休んでいいよ」とも言えず、どのような言葉をかければいいのか迷います。

しても学校に行きたくない日があり、家を出たあと、近所の空き地で時間をつぶした記憶があります。その後、このまま戻れなくなるかもという不安から、頑張って登校しましたが、当時の自分にはそれしか選べませんでした。

不登校の小学生が増えています。現在は、フリースクールやオンライン授業などがあり、昔と比べ、選択肢が増えたことをありがたく感じます。私も小学生の頃、どう

価値観が変わっていく世の中で、なにが本当に大事なことなのか考える日々です。これから社会と関わっていく子どもに何を伝えるのかという問いは、そのまま、私がどのような人生を歩んでいるのか、という問いかけのように感じます。

生書道教室

指導者 生 春翠・勝弘

〒862-0910 熊本市東区健軍本町6-10 電話 096-369-1138

成人部

漢字/臨書/かな/ペン/くらしの書(実用書道)

生徒部

幼児・小中学生 各学年(毛筆・硬筆)



阿弥陀寺 様でのお葬式

ファミリープラン(家族・親族の安心プラン) 33万円より 税込み 以下の内容が含まれます。

- 御棺一式
- 納骨一式
- 霊柩搬送
- ドライアイス
- 遺影写真
- 生花祭壇

含まれないもの・・・返礼品、食事、火葬料金 1日葬プランもあります。19.8万円(税込み)より

想いを込めた送り方

想送の木山葬儀社

お問い合わせは！(24時間) 益城町宮園547-3 096-286-4640 携帯 080-5214-4640 メール info@kiyamasougi.jp

報恩講

(親鸞聖人のご法事)

日時・1月12日(日曜日)

午後1時〜読経・法話〜4時終了

法話・中井賢隆 布教使(大阪・最勝寺住職)

講題・「寿なるいのち 命なるいのち」

ミニコンサート・ポヤポヤ ※法要終了後、懇親会がございます。

差向け布教

納骨堂追弔法要 永代経法要

日時・2月24日(月曜日)

午後1時30分〜3時30分終了

法話・山崎 哲 布教使(東京・西徳寺住職)

年回忌表 令和7年(2025)

- 1周忌 令和6年(2024)
- 3回忌 令和5年(2023)
- 7回忌 令和元年(2019)
- 13回忌 平成25年(2013)
- 17回忌 平成21年(2009)
- 23回忌 平成15年(2003)
- 27回忌 平成11年(1999)
- 33回忌 平成5年(1993)
- 37回忌 平成元年(1989)
- 50回忌 昭和51年(1976)

上記が今年の年回忌です。ご予約が決まりましたら、お寺に連絡をお願い申し上げます。

猫伏石の声

令和7年 法要 予定

●報恩講

1月12日(日) 13時〜

法話 中井賢隆 師

(大阪・最勝寺住職)

ポヤポヤ(ミニコンサート)

●差向け布教

2月24日(月) 13時30分

法話 山崎 哲 師

(東京都 西徳寺住職)

●春彼岸会

3月22日(土) 13時30分

「精神科医と

能楽師と読む經典」

安田 登 師(能楽師)

大島淑夫 師(精神科医)

ポヤポヤ(ミニコンサート)

●法話の会

5月25日(日) 14時〜

法話 川村 智明

栃原 真人

大谷 義文

●寺子屋

6月15日(日) 14時〜

安田 登 師(能楽師)

ポヤポヤ(ミニコンサート)

●法話の会

7月6日(日) 14時〜

法話 川村 智明

栃原 真人

大谷 義文

●秋彼岸会

9月21日(日) 13時30分

法話 中井賢隆 師

(大阪・最勝寺住職)

はがみちこ 師

(岡山・正覚寺)

有馬麻衣子 師

(長崎・正覚寺)

●寺子屋(語りの秋)

11月3日(月) 14時〜

安田 登 師(能楽師)

玉川奈々福 師(浪曲師)

ポヤポヤ(ミニコンサート)

●寺子屋(歳暮の会)

12月21日(日) 14時〜

安田 登 師(能楽師)

ポヤポヤ(ミニコンサート)

※1月12日以降、一時的に納骨堂へお参りができない時期が生じます。お参りの際は、ご連絡を頂きたく存じます。

096-289-0424

葬儀・祭壇

熊本県儀式共済株式会社

ハタオ葬儀社

水前寺斎場

熊本市中央区国府1丁目12-3
TEL.096-364-3220

ハタオ葬儀社

しみず会館

熊本市北区清水新地7丁目4-27
TEL.096-342-5657

豊住葬祭

豊住葬祭斎場

熊本市中央区河原町23
TEL.096-324-4848